１月例会報告

【日時・会場】2001 年 1 月 25 日(木)19:15～21:30 筑波大学附属高校 3Ｆ会議室→21:40～2:30 カリンカ
【参加者】】内田正人(Ｂ＆Ｄ)、鵜木恵介(野村総合研究所)、宇都宮徹壱(写真家)、江川純子(CoShopper.com)、小緑典子((株)クラブハウス)、鈴木崇正(NEC クリエイティブ)、田尻美寧貴 ((株)クラブハウス)、中塚義実(筑波大学附属高校)、本多克巳((株)クラブハウス)、宮崎雄司(サッカーマニア編集・発行人)、
【新規参加者】奥野剛史((株)クラブハウス)、片桐正大(立教大学法学部学生)、川内健太郎(早稲田大学経済学部学生)、
注）参加者は、所属や肩書を離れた個人の責任でこの会に参加しています。括弧内の肩書きはあくまでもコミュニケーションを促進するため便宜的に書き記したものであり、参加者の立場を規定するものではありません。

2001 年のフットサル連盟
梶野政志(日本フットサル連盟理事長)

本報告は、当日の梶野氏の発表と秋田氏による補足説明、及び当日のディスカッションをもとに再構成し、参加者のチェックを経て公開するものである。なお、内容については一部『フットサルオフィシャルハンドブック 3』を参考にした。

＜全体構成＞

＜１＞プレゼンテーション
１．サロン 2002 ホームページアップまでの経緯(中塚義実、鈴木崇正、本多克己)
２．サロン 2002 ホームページの構成について(田尻美寧貴)
３．トラフィックデータについて(本多克己)
＜２＞ディスカッション

＜プレゼンテーション概要＞

１．サロン 2002 ホームページ(以下ＨＰ)アップまでの経緯(中塚義実、鈴木崇正、本多克己)

１）制作担当の決定まで
2000 年 1 月より、サロン 2002 という任意団体をどのような方向で進めていくかについての検討会を数回にわたり開催し、2000 年度からの方向性がある程度定まった。そしてサロン 2002 は、志を同じくする者が「give and take」を前提としてメンバーとなる、「会員制」の組織となった（サロン 2002 の志を参照)。情報発信が中心的な活動であり、ＨＰ立上げは当初より議題に上がっていた。

議論の結果、ＨＰについては以下の結論となった。
・サロン 2002 のトップページは、どこにも属さない形で小さな領域を確保する
・どの程度費用がかかるかは、「わかっている人たち」で調査する
・メンバー紹介ページやプロジェクトのページを設ける。

これらをもとにして、名簿の作成とあわせてＨＰ立ち上げに向けて進行していったが、誰が、いつ制作するかが問題となり、ＨＰの作成は一時棚上げになった。
　ＨＰ立ち上げの主たるコンセプトは、「月例会後のカリンカの雑談も含めて、その日話し合われたことがそのまま放置されていてはもったいない」という発想（今あるものを出さないともったいない、という発想）であったが、担当者が決定し、着手しはじめるまでにかなり時間が経過した。

２）制作開始からアップまで
誰が制作するかについて、サロン 2002 幹事でもある鈴木氏を中心に検討が進められた。鈴木氏のサッカークリックの中でやるのか、それとも本多氏の FCJAPAN の中でやるのか等、様々な議論があったが、サロン 2002 のＨＰは独立した形で運営されることが望まれた。　　とは言っても、制作はだれかが行わなくてはいけない。「わかっている人たち」(ネットに詳しく、それを仕事としている人々ー中塚注)の話し合いの結果、(株)クラブハウスにて、できる限り原価に近いコストで製作することとなった。着手したのは 11 月下旬と、かなり時間が経過した後だった。

アップ日をいつにするかを中塚氏と話し合った結果、12 月 25 日にサロン 2002 会員(及び全国の心ある人々)へのクリスマスプレゼントとしてアップすることを目標とした。
１年分近くの月例会の報告書やその他サロンの歴史に関する資料の量は想像以上に膨大であり、その整理から構成、編集、デザイン、アップまではそれなりの時間と労力を要した。最終的には何とかクリスマスプレゼントとして、12 月 25 日にアップすることができた。

３）独自のドメイン取得について「@salon2002.net」
独自のドメインを取得することとし、さらに企業色の出ないものとするために「.com」や「.co.jp」ではなく「.net」とした。

２．サロン 2002 ホームページの構成について(田尻美寧貴)

１）トップページについて
宇都宮氏の写真をボランティア的に提供していただき、サッカーの雰囲気、人々の集まりをイメージできるように試みた。この写真については、一定期間で掲載写真を替えていくことを予定しており、宇都宮氏からの写真提供については協力を約束いただいている。

トップページの文章は、サロンの意志を伝えるために、「サロン 2002 の志」を抜粋した。

２）概要
(a)設立宣言：サロン 2002 会員名簿より抜粋
(b)志：サロン 2002／３月例会報告より抜粋
(c)会員：同上
(d)活動：同上
(e)規約：サロン 2002 会員名簿より抜粋

３）沿革
中塚氏から提供されたデータより、サロン 2002 の歴史がうかがえるものをピックアップした。1997 年の第１回目～第 49 回目までをアップしている（この日が通算第 50 回目）。

４）会員名簿
エクセルデータにて管理されているものをソートし、２列で表示した。但し、個人情報の開示については同意されていないので、現時点では氏名を掲載するのみである。

５）月例会報告
直近の月例会報告を見やすく校正し、アップした。 月例会案内は、開催場所・日程を外部にオープンするべきではないとの判断から、ＨＰ上には掲載していない。

バックナンバーは、１年分以上ストックがたまった時点で年ごとに束ねる予定。バックナンバーにも表題を入れられるよう準備する。

６）プロジェクト
今はまだ「フットサルプロジェクト１」のみであるが、今後プロジェクトが増加するごとに、目次・ページを作っていく。

７）インフォメーション
アップ時点でのインフォメーションは特になかったので、現在は掲載なし。今後掲載内容・範囲を検討して掲載する予定。会員としての特権を損なわない程度の情報提供にとどめるか？

８）リンク
現在は、サロン 2002 の兄弟組織である「サロンドトウカイ」と「Alliance2002」、および制作に携わった「サッカークリック」と「FCJAPAN」のみ掲載している。
今後どの範囲まで掲載していくかも検討が必要。

※概要・構成についての質疑応答

Ｑ：(株)クラブハウスで制作を行うことが決定するまでの経緯は？サロン 2002 の会員としての作業なのか、正式な請負としての業務なのか？独自領域とはいっても、実態は FCJAPAN ではないか？

Ａ：「powered by fcjapan」の表記についてだが、金銭としてではなく労力的な意味合いでのスポンサードとして登載している。スポンサードと捉える根拠としては、更新作業全般を行っている点や、サーバーの管理費等にかかるものである(金銭的には無償)。物理的な領域で言えば、サーバーは FCJAPAN の中にあるが、ドメインは「salon2002.net」であり、インターネット上の領域で言えば独自領域と言える。つまり、スポンサードというよりはサポート的な色合いが濃い。

Ｑ：それでは実際の運用に乗せたときにどこまでカバーしてもらえるのか？

Ａ：実際問題、サーバー管理費や通信費等はそれなりにかかってくる。これを予算内でどのようにカバーするかも検討項目である。手を動かす部分での労力の分散については今後の課題であろう。

Ｑ：「カウンター」や、更新後の「ＮＥＷ」というような表示については？

Ａ：「カウンター」については、個人のサイトで使われているものが多く、公式サイト等ではあまり用いられない。更新済みのコンテンツに「ＮＥＷ」と表示することを予定。

３．トラフィックデータについて(本多克己)

基本的には、ページビューとビジットを見てトラフィックを判断することとなる。ビジットとは、何名がこのサイトに来たかを示し、ページビューは、何ページ見られたかを示すので、トラフィック量の指標としてはこの２項目で分析することが多い。

トラフィック量を分析する指標としては、この他にヒット、ファイル、サイト、転送バイトなどがあるが、これらは現在あまり用いられることはない。ヒットとは、そのページ内に示されているデータ数(画像やテキストデータ)を言うものであり、かつてはヒット数がトラフィックを計る指標であったが、１ページにデータがたくさんあったりする場合には公正なトラフィック量を知ることができないので、最近はあまり用いられず、ページビューが指標(影響度)として使用されているケースが多い。

1 月 1 日～24 日の間、1,284 ページビュー(PV)、226 人のビジット(VISIT)があった(その後は、1 月の PV1,608、VISIT302、2 月 1 日～12 日で PV347、VISIT93。合計すると現時点で、PV1,955、VISIT395 人)。

Ｑ：一般的な人の誘導方法はどのように行うのか？サロン会員はＵＲＬを連絡されているから見ることが出来るが・・・

Ａ：検索エンジンに登録することや、様々なサイトからリンクさせることにより、一般への開放・誘導も考えることが出来る。現状で検索エンジン等に登録する。

＜ディスカッション＞
月例会は結論を出す場ではないが、ホームページのあり方、あるいはサロン 2002 の今後のあり方について、多岐にわたって議論した。重要事項の判断は、総会(現行規約上は役員会で代替できるが)での議決が必要となるが、ここでの議論がベースとなるだろう。

１．プライベートデータの保守について

「会員名簿」にどこまで載せるか。メールアドレスは？住所は？電話番号は？勤務先は？掲載するかしないかについて、各個人に希望をとるのか？

まったく属性がわからない「氏名」のみの掲載では、外部に向けてのアピールが少ない感がある。そもそも外部への発信手段としてのサロン 2002ＨＰであるので、どのようなメンバーで組織が構成されているかは、ある程度見られるものにするべきではないのか？

・載せたい人だけ載せればいいのではないか？
・開示したい情報は、個人名からリンクするような形で、ある程度自由に表現して掲載する。リンク先については個人責任にするとよいのではないか。
・個人ごとに掲示板のようにして管理する方法もある(自分で書き込める掲示板)
・冊子になっている「会員名簿」の意味は、会員相互が互いのことを知るためのもの。それに対して、ＨＰ上では不特定多数の人に開示することとなる。本人の同意なしの掲載は問題があるだろう。
・一方で、「サロン 2002 という組織はこういう人たちによって構成されている」ということをＨＰ上である程度開示していないと、この組織が何の組織であるのか不明といった問題もある。サロンって一体何？という疑問に対する信憑性のためにも掲載する必要があるのではないか。
・そういった意味でも、メンバーのプロフィール的な情報を、簡単なものでも掲載しないといけないのではないか(もちろん拒否権はあり)
・冊子「会員名簿」を作成する時、個人の属性を(会員に対して)公表することがハードルとなり、その結果サロンを去っていった人もいた。同様に、ＨＰ上に最低限の属性を載せるにあたって賛同できない人も出てくるだろう。その結果、サロンを離れる人が出てくるのも仕方がないことだと思う。
・肩書きは、勤務している会社のことではなく、その人がどういう形でサロンと関わっているか（サッカー・スポーツとどういった形で接しているか）ということでいいのではないか。

２．情報の開示について

１）翌月の月例会報告の掲載について
サロン 2002 月例会開催情報は、サロン 2002 会員の大きなメリットである。一般の方でも見られる環境に置いておくことは、ＨＰアップの段階ではストップした。現実問題として、会場がどこで行われているか、だいたいいつ頃行われているかなどは過去の月例会報告を見るとある程度想像つく状況になっているが、今後も「月例会情報」は会員の特典として、情報の差別化を図りたい。

２）インフォメーションについて
・「サロン 2002 初蹴り会」など、会員だけで楽しみましょう(もちろん会員が友人を連れて来ることはかまわないが)という企画についても、情報をオープンにする必要はないのではないか。インフォメーションの内容自体が掲載するかどうかの決定要因となることは間違いない。
・例えば宇都宮氏の写真展についての情報を掲載することについてはどうか？個人的な情報をどこまでインフォメーションに載せることができるか。
・宇都宮氏の写真展は、例えば「ワールドカップ･プロジェクト」の一環として、「プロジェクト」と位置づけることはできないか。そうなれば、プロジェクトのページで扱うことができる。
・サロンのプロジェクト自体は、志に合致するものであればもっとたくさん存在してもいいと思う。ゆるやかな約束事のなかで、ある程度自由に、随時取り扱っていくことができるものと思われる。
・会員のみが受けることのできる情報と、一般への情報公開(開示)をどのように区分するかも、今後検討しなくてはいけない。会員のみに知らせたいことはホームページには掲載せず(月例会案内や初蹴りなど)、それ以外の情報についてインフォメーションに掲載するようにすればよい。
・いずれにしても、その情報を掲載するかしないかの判断をする人が必要である(サロンの志に根ざしているという前提を判断する人)。それは、更新作業等を行う(株)クラブハウスであってはいけない。現状では代表の中塚氏か、ＨＰ関係統括の鈴木氏が判断することとなるか。

３．プロジェクトについて

各プロジェクトは単体の動きを見せることとなりそうだが(もちろんサロン 2002 との連動はあるが)、その発展性について議論した。
・宇都宮氏の写真展を「ワールドカップ･プロジェクト」として
・ＤＵＯリーグを「ユースサッカーリーグ推進プロジェクト」として
・「＜予選リーグ＞＜決勝トーナメント＞という呼び方をやめようプロジェクト」なんかも面白い
・「高校サッカーで、試合後に勝ったチームの校歌を歌うことをやめようプロジェクト(ノーサイド精神推進プロジェクト)」もやってみたい

などなど、考えれば限りなく出てくる。サロン 2002 の活性化のためにも、どんどんプロジェクトを立ち上げていきたい。
立ち上げの手順は、ＨＰ上の「プロジェクト→立上げ宣言」に明記されている。

４．リンク集の掲載範囲について

立ち上げに関与した組織として、とりあえず「サッカークリック」「FCJAPAN」が載っているが、「SPONAVI」や「協会」にもサロンの会員がいる。どのように取り扱っていくのか？
・一般的なリンクについては、基本的にはサイトの運営者が、志に沿っているか判断の上、掲載を決定することとなるはずである。リンクの数は多い方がいいというのが通常である。リンクに載せるにあたっては事後報告が多く、「問題があったらご指摘ください」というスタイルが多い。

・外部からのリンク依頼についても、基本的には受けていく方向で問題ない(当面は会員からの希望により掲載していく)
・サロン 2002ＨＰのリンク集に関しても、同様の考えでよい。まずはサロン 2002 通信で会員に呼びかけて、掲載して欲しいサイトを募集したい。

５．ＨＰ上での総会について

規約第 10 条の１項に「定例総会は、毎年３月及び５月に開催する」と明記され、また規約第 10 条４項に、「総会は、サロンのＨＰ上においても開催することができる」と明記されている。まずは今年度、どのような形態で開催するか？

・月例会の大型版のようなもの(公開シンポジウム？)を一般参加者も含めて開催し、その後、総会を行いたい。ただし、３月と５月に両方ともそのような規模のものを開催するのは現実的に困難。どちらか一方としたい。３月は決算等、各会員の繁忙期と重なる可能性も高く、開催は困難か。５月に上記のようなイベントも兼ねて開催する方向で考えてみたい。3月の総会はＨＰ上(またはメールでのやり取り)となるか。

・そもそも必要があるから開催するべきで、必要がなかったら開催しなくてもいいのではないか。

６．更新・編集作業について

月例会報告の内容がある程度定型化されていれば、編集作業のみを行えばよいのだが、これにかかる時間と労力は、だいたい１人で半日くらいかかるものと思われる。
・その時間と労力がかかってしまっているのなら、何らかのお金を発生させることも検討した方が良いのではないか。
・その点については、「powered by fcjapan」と掲載することである程度はカバーできるものと思われる。
・しかしながら、来年度については、純粋にかかる経費を目安として見積もり、その結果から予算の一部を充当することを検討する。

７．一般向けの開放について

・不特定多数の人にサロン 2002 のＵＲＬを宣伝するにしても、見てもらった人にとって、トップページ

などからはコンセプトが伝わりにくいかもしれない。表現方法は今後検討していった方がいい。
・本格的に外部に向けて発信していくのであれば、たとえば目に付くスローガンを大きく載せるなど、一目でサロンの活動がわかるような、また入りやすいような表現の工夫が必要だろう。今の状態では、一般の人が中に入っていこうと率先して思えるようなトップページではないかもしれない。
・サッカーに関するＨＰであることが一目でわかるようなトップページの写真構成も必要かもしれない(宇都宮氏からも、テーマが「サッカー」の、わかりやすい写真を提供いただける約束を頂く)
・一方、ある方から「アカデミズムと情熱が充満しているすばらしいＨＰですね」との感想も頂いている。わかる人にはわかってもらえる。トップページが評価された表現と言って良いだろう（文責：田尻美寧貴)

＜中塚の感想･意見＞
数字で「時刻」を正確に刻むデジタル時計よりも、長針と短針でゆるやかに「とき」を伝えてくれる柱時計(なぜ「柱」なのかはともかく)が好きである。パワーポイントを用いてのかっこいいプレゼンもいいけど、「俺は黒板にチョークやな」と割り切っている。
このような典型的"アナログ"人間である私にとって、"デジタル"だの"バーチャル"だの"インターネット"だのといった世界は「よくわからない」。すごさや大変さは何となくわかるが、「どこをどうすればどうなるのか」、例えば「どうすればＨＰをつくることができるのか」「どうすればきれいなプレゼンテーション用画像ができあがるのか」等がよくわからない(し、やろうともしていない)。
だから自分のまわりに「よくわかっている人たち」がいてくれないと、とてもじゃないがこの世界をのぞくことはできないと思っていた。サロン 2002 で「よくわかっている人たち」にめぐり会えて本当に良かったと思っている(情けない話だが…)。

「よくわかっていない」くせに、ＨＰがサロン 2002 の心臓部だと思っているのもまた事実である。そもそも、1997 年度より「サロン 2002」という名称で活動を開始してから今日に至るまで、この組織が発展してきたのは間違いなく"デジタル"技術のおかげだし、ネット上で簡単に人と人とがつながっていく"インターネット"のおかげだと思っている(いちいち案内を郵送なんてしていられない)。
しかし、"ネットワーク"だけでは不十分。サロンの参加者(会員)が"ネットワーク"を"フットワーク"につなげていく指向性を持っていたからこそ、ネット上の"バーチャル"な関係から"リアル"な人間関係が広がり、今日のサロン 2002 の基盤となっているのだろう。
だから、できあがったＨＰを大いに活用することはもちろん大切だが、「月例会」や「プロジェクト」、「出張」や「合宿」など、人と人が直接触れ合う場面も同時に大切にしていきたい。"からだを動かし汗をかく"ことを通してこそ、組織と人は活性化するのだと思う。

その意味で、月例会の参加者が最近減少傾向にあるのが少し気になっている。カリンカでも話題になったが、いろんな理由があるのだろう。で、今回のテーマとの関連で言うと、「情報サービスが行き届きすぎている」ことも理由の一つに挙げられるのではないかとふと思った。

自宅のＴＶで"ホンモノのサッカー観戦"が十分楽しめるのであれば、競技場に足を運ぶ必要性はなくなる

(ような気がする)。実際は別物なのだが、「面倒くさく感じる」ようになる(ような気がする)。同様に、月例会の情報がきめ細かく届けられ、ネット上で満ち足りてしまうと、"フットワーク"が重くなって月例会への参加意欲が減退してしまうこともあるのではないか。月例会報告を簡略化して「手抜き通信」にしてしまえば…とふと思ってみたが、けち臭い話なのでやめにしよう。
やはり、良い情報、正しい情報、魅力的な情報は、より多くの人に伝えたい。だから「サロン 2002 通信」はますます充実させたいし、ＨＰもフルに活用したい。魅力的な情報の発信源には行ってみたくなるはずだし、次の行動へのエネルギーとなるはずである。"ネットワーク"と"フットワーク"をいかにつなげるかをテーマとしながら「情報発信」に取り組んでいきたいと思った。

ところで、ＨＰをめぐる議論の中で、サロン 2002 の組織のあり方自体もより明確になってきた。会員のメリットは、具体的には「会員名簿」の冊子が郵送され、「サロン 2002 通信」が毎月メールで送信されることにある。しかしＨＰにも情報が掲載されるようになったので、一般向けと会員向けの"情報の差別化"を図る必要が生じてきた。
例えば「会員名簿」は、ＨＰ上ではサロン 2002 という組織の性格を対外的に示すためのものであり、会員の手元に届く冊子は互いを理解するための重要なツールである。両者に掲載される情報は、量も質もおのずと異なったものになるだろう。
また、「サロン 2002 通信」に載っている月例会「報告」はＨＰ上でも公開されるが、月例会「案内」は会員のみが得ることのできる貴重な情報であり、会員の一つのメリットとなる。もちろんお楽しみ企画の案内も同様である。これらの活動には会員以外でも参加できるが、会員の紹介が原則である(そこで会の質を維持できる)ことも明らかである。

このように、「ＨＰがサロン 2002 の心臓部」というのは、情報発信がサロン 2002 の中核であるという文字通りの意味に加えて、ＨＰをめぐる議論を通してサロン 2002 自体の組織のあり方が見えてくるという意味も含まれるのである。

忘れてはならない大きなメリットも鮮明になった。それは、「会員になればプロジェクトの発起人になることができる！」ということである。会員は「サロン 2002 の構成員」であると同時に、一人ひとりが「サロン 2002 そのもの」でもある。

さあ、皆さんもどんどん言い出しっぺになって、いろんなプロジェクトを立ち上げていきましょう！そしてそこで、からだを動かし汗をかきましょう！